

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月21日(火)

事務事業		未熟児養育事業		担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	3352	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	健やかで元気に暮らせるまちづくり		根拠法令 個別計画等	母子保健法 深谷市母子保健法施行規則 深谷市未熟児養育医療給付実施要領 養育医療の給付に関する費用徴収実施要領				
	小項目	1	健康づくりの推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		本事業は、医療を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療の給付を行うとともに、訪問指導等を通じて、未熟児のすこやかな成長と保護者への育児支援を行うものである。								
目的 ※何のために		未熟児のすこやかな成長を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		未熟児とその保護者								
手段 ※どのように		未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導を行う。								
成果 ※何を求めるか		未熟児のすこやかな成長を図るため、未熟児とその保護者に対して未熟児養育医療の給付、未熟児訪問指導等を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、未熟児特有の養育を理解し子育て意識の醸成に繋がる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	5	母子保健費	未熟児養育事業	10,084,065
本事業の 主な業務		・未熟児養育医療の給付							・	
		・未熟児訪問指導							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画								
事業費	予算（現額）	15,029,000	15,029,000	12,529,000	12,247,000	11,015,000	11,815,000	
	決算額	8,399,557	7,193,893	10,474,009	12,234,438	10,084,065	0	
	財源内訳	国支出金	3,268,800	3,813,600	4,086,000	0	2,957,500	4,702,000
		県支出金	1,634,400	1,906,800	2,043,000	1,901,250	1,478,750	2,351,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,576,642	1,090,310	1,290,941	2,198,390	2,482,470	2,395,000
		一般財源	1,919,715	383,183	3,054,068	8,134,798	3,165,345	2,367,000
人件費	従事職員数（人）	0.26	0.28	0.48	0.25	0.22	0.28	
	人件費相当試算※	2,022,540	2,178,960	3,890,400	2,034,000	1,707,622	2,276,777	
総事業費試算		10,422,097	9,372,853	14,364,409	14,268,438	11,791,687	14,091,777	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	未熟児訪問回数	目標値	回							
		実績値		21	29	31	43	57		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		未熟児の出生数により変動するため設定できない / 訪問回数（延べ）							
	実績値の算出式									
成果指標 1	養育医療券の交付数	目標値	件							
		実績値		36	32	37	36	41		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による交付であるため目標値の設定はできない / 交付数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	養育医療医療給付件数	目標値	件							
		実績値		87	69	90	105	102	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		未熟児 1 人あたりの養育医療給付件数は児の状況により変わるため設定できない / 養育医療給付延件数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	養育医療給付額	目標値	千円							
		実績値		8383	7179	9369	11791	10072	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		申請による交付であるため目標値の設定はできない / 養育医療給付額（市支弁額）							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	未熟児は入院期間が長期にわたる児もあり、退院してからも疾病や発育発達面で保護者の不安が強いため、早期から家庭訪問などを実施し、保護者の支援を実施している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	未熟児養育医療の医療券の交付件数は増加したが、給付件数、養育医療給付額は、令和2年度より減少した。出生した未熟児の状況により、変動がある。
評価者			保健指導第1係長 石川 初恵 保健指導第2係長 小井土 和美

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	対象者が少なく、医師意見書などの申請書類が必要な事業であるため、ICT化は検討していないが、データ管理しており、効率的に活用できている。
評価者			第一係長 石川 初恵 第二係長 小井土 和美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	未熟児の特性などを学び、発育発達の遅れや保護者の精神的負担感などに寄り添った支援ができるよう、知識の習得に努める。
達成状況及び その効果	コロナ禍で講演会などは参加が難しかったが、県で行う研修会に職員が参加し、復命等により、知識を深めることができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	未熟児養育事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第二係	管理番号	3352
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		<div>評価の内容説明</div> <div>未熟児の出生は、年度によって変動があるが、出生が減少傾向であるにもかかわらず、未熟児養育医療の申請者は増加傾向にある。発育発達に心配や不安を抱えて育児を行う保護者への支援は重要であり、未熟児養育医療の申請時の面接や家庭訪問などで支援を実施している。今後も継続して、早期からの保護者支援を実施していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	保健センター所長 穂山 光昌				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	令和4年度中に埼玉県が作成するリトルベビーハンドブックを配布する際に、冊子の内容の説明を行い、保護者の活用を促す。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	未熟児は発育発達に問題がある場合もある。疾病や障害などにより成長に合わせて、継続した支援が必要な場合には、医療機関や教育研究所、療育機関、庁内関係課と連携し、支援していく体制が必要である。

8. 評価指標グラフ

